

授業科目 臨床医学 III

【担当教員名】 井上 弘樹	対象学年	2	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○
【概要】 臨床医学総論で学んだ基礎を元に、主に内分泌、腎臓、血液、神経系領域における、各器官の機能及び、主要な疾病の病態生理と症状、診断過程、治療方法、経過と予後の概要を学習する。				
【学習目標】 1. 内分泌疾患の原因部位と病態について理解することができる。 2. 血液疾患の分類と治療の概要について理解することができる。 3. 腎疾患の病態と治療の概要について理解することができる。 4. 神経所見と関連する神経筋疾患の概要を理解することができる。				
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内分泌 I (下垂体、甲状腺)			
2	内分泌 II (副甲状腺、副腎)			
3	代謝疾患 I			
4	代謝疾患 II			
5	血液 I (総論)			
6	血液 II (貧血)			
7	血液 III (血液凝固障害)			
8	腎臓 I (腎疾患総論、症候学)			
9	腎臓 II (糸球体疾患)			
10	腎臓 III (全身疾患と腎、腎不全)			
11	神経内科 I (総論、脳血管障害)			
12	神経内科 II (中枢神経系の疾患)			
13	神経内科 III (末梢神経系の疾患)			
14	神経内科 IV (その他の神経系疾患と筋疾患)			
15	まとめ			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医 学編	武田隆久	日本病院会	2012・8,000 円＋税
参考書	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学 (第 4 版) 臨床病態学	北村 諭 他 佐藤良暢 他	中外医学社 南江堂	2011・3,800 円＋税 2011・5,000 円＋税
その他の資料				
【評価方法】 定期試験 (筆記)	【履修上の留意点】 教科書に無い部分はスライドやハンドアウトなどで適宜補足する。 本科目のような分野では、知識を正確に用いることが求められる。そのためには日々学習を積み重ねることが必須であることをよく理解した上で、受講すること。 受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については、退室を命じることがある。 シラバスの各回の内容については変更になる可能性があるため、各自掲示板などをみておくこと。			